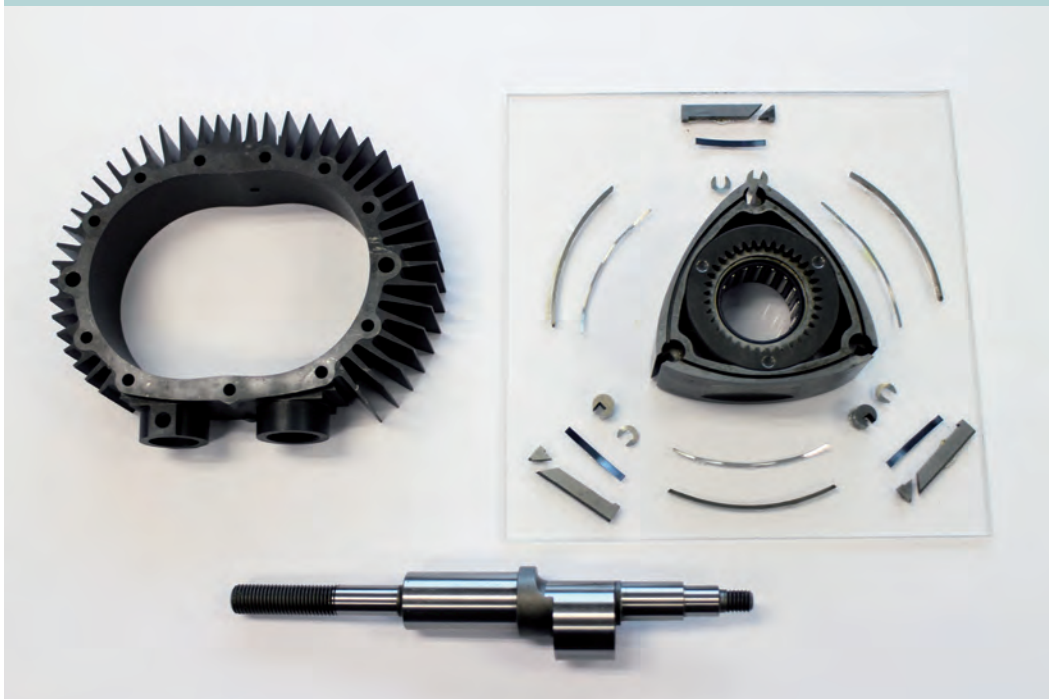


治具作りのノウハウを生かし精密機械部品の加工

- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



さまざまな精密機械部品を手がける

真似をしない、 独創的なものづくり

昭和40年の創業から「治具・専用機」を設計製作してきた長年のノウハウを生かして精密機械部品の加工を手がける。更谷雄三社長の父で創業者の更谷勇氏の教え「他社の真似はしない、あくまで独創的に」を愚直に守り、弟の更谷元三氏と二人三脚で事業展開する。

平成26年、手狭だった大阪府東大阪市の旧本社工場から、大阪府枚方市に新たに構えた工場兼事務所に移転し、工作機械などの設備を最適に配置。CAD室も新たに設け、3次元CADや精密測定器も活用してものづくりの幅を広げる。

加工方法で提案力を発揮

ものづくりに精通する同社では、大手企業の生産技術部門からの相談にも最適な治具や専用機の提供を通じ、生産効率化に最適な加工方法を提案してきた。「規模は小さいが、おもしろいアイデアを持つ会社」と評判になり、さまざまな顧客の機械加工分野での課題解決で実績を持つ。

従来は顧客の加工向け治具の考案・製作が多かったが、現在は蓄積してきた生産技術のノウハウを自社での精密機械加工に応用する。材料調達から機械加工、表面処理、組立までを一貫して同社が責任を担うものづくり体制を構築する。

自製 模型用 ロータリーエンジンで存在感

中小企業の同社が大きな存在感を見せる象徴的な製品がある。世界的に見ても珍しいラジコン模型用ロータリーエンジンだ。



大阪府枚方市に構えた自前の事務所兼工場



難加工品も対応する

精密機械部品の加工で 存在感を高める

経営の安定化を図るため、精密機械部品の小ロット・中ロット生産を事業の柱にしてい。その事業基盤を作るため、平成26年に自社工場を設け、平成27年には個人企業から株式会社へ改組した。今後は従業員の増員も目指す。

更谷社長は「今後当社では、売上高比率を機械加工を3分の2、自社商品で展開する小型ロータリーエンジンを3分の1としていきたい」と強調する。得意技の「設計力×治具製作力」を生かし、精密機械部品の分野でも存在感を高めていく。

当社の歴史



昭和40年に父の更谷勇（さらたにいさむ）が創業し、私は平成12年から社長を引き継ぎました。顧客から依頼のあった難しい生産技術の案件に粘り強く対応し、当社の名を広めた模型用ロータリーエンジンの開発も行いました。今後も独創的なものづくりでステップアップしていきます。

代表取締役社長 **更谷 雄三さん**

<http://www.nitto-mfg.com/>

主な事業内容

治具を生かした小・中ロットの精密機械部品加工、小型ロータリーエンジンの製造販売

主な取引先(納入先)

センサー機器メーカー、大学・企業の研究開発部門、プレス金型メーカー

- 住 所 〒573-0131 枚方市 春日野1-1-7
- TEL 072-808-4110
- FAX 072-808-4111
- 創業 昭和40年1月
- 設 立 平成27年7月
- 資本金 600万円
- 従業員 3名